



平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月5日

上場会社名 株式会社オークワ 上場取引所 東  
 コード番号 8217 URL <http://www.okuwa.net>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神吉 康成  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員管理本部長 (氏名) 森川 昌幸 (TEL) 073 (425) 2481  
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月5日 配当支払開始予定日 平成27年10月23日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第2四半期の連結業績(平成27年2月21日～平成27年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	134,043	△1.8	887	10.9	1,196	8.0	667	—
27年2月期第2四半期	136,456	△5.8	800	△25.5	1,108	△16.4	△5	—

(注) 包括利益 28年2月期第2四半期 1,472百万円(709.4%) 27年2月期第2四半期 181百万円(△66.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	14.94	14.94
27年2月期第2四半期	△0.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第2四半期	135,715	79,013	58.2
27年2月期	133,577	78,328	58.6

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 78,988百万円 27年2月期 78,312百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	13.00	—	13.00	26.00
28年2月期	—	13.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年2月21日～平成28年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	274,000	0.7	2,600	9.5	3,200	11.4	700	—	15.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
詳細は、添付資料P.3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P.3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期2Q	45,237,297株	27年2月期	45,237,297株
② 期末自己株式数	28年2月期2Q	586,214株	27年2月期	579,488株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期2Q	44,654,765株	27年2月期2Q	44,668,361株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に円安・株高基調が継続し、個人消費や輸出が持ち直すなど緩やかな回復基調となりましたが、一方で円安による原材料価格の上昇やそれに伴う物価の上昇等を受け、先行き不透明な状況で推移いたしました。

小売業界におきましては、昨年の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要とその反動が一巡するなか、消費者の節約志向や低価格志向、企業間の価格競争が増すなど、非常に厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか、当社は『全従業員の役割明確化のもと、業務改革と行動改革の断行で、お客様第一主義を徹底し、客数アップを達成しよう』を本年度スローガンに掲げ、業務を進めてまいりました。

そのほか、雇用情勢の変化のなか店舗作業の見直しを重点的に行い効率化を図るとともに、店内組織の改編に取り組み、朝夕のピークタイムへの人員配置増強をスタートさせました。

新規出店につきましては、4月にスーパーセンター業態の「田原本インター店」(奈良県磯城郡田原本町)、「テラスゲート土岐店」(岐阜県土岐市)、5月に「関店」(岐阜県関市)の3店舗を新設いたしました。

また、主力業態であるSSM業態の「橿原真菅店」(奈良県橿原市)、「狭山店」(大阪府大阪狭山市)、「橿原畝傍店」(奈良県橿原市)の3店舗の全面改装を行いました。

当第2四半期連結累計期間の営業状況については、売上高は前期における経営効率化による店舗閉鎖の影響もあり、前年を下回りましたが、経費削減等により利益は改善となりました。

連結子会社については、外食の㈱オークフーズは、減収でありましたが、経費節減等により前期並みの利益となりました。

また、グループ全体の経営効率化及び収益力向上を図るため、食品スーパーの㈱ヒラマツは、㈱オークワで営業していた「プライスカット西浜店」を「ザ・ロウズ365西浜店」として、2月に改装オープンいたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの営業収益(売上高及び営業収入)は1,340億43百万円(前年同期比1.8%減)、営業利益は8億87百万円(前年同期比10.9%増)、経常利益は11億96百万円(前年同期比8.0%増)、四半期純利益は6億67百万円(前年同期は四半期純損失5百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ21億38百万円増加し、1,357億15百万円となりました。

増減の内訳としては、流動資産では10億42百万円の増加であり、これは主に流動資産の「その他」に含まれる立替金が7億68百万円、前払費用が4億56百万円増加した一方、現金及び預金が5億32百万円減少したことによるものであります。

固定資産では10億95百万円の増加であり、これは主に投資その他の資産の「その他」に含まれる投資有価証券が10億19百万円増加したことによるものであります。

## ② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ14億53百万円増加し、567億2百万円となりました。

増減の内訳としては、流動負債では12億79百万円の増加であり、これは主に支払手形及び買掛金が27億65百万円増加した一方、流動負債の「その他」に含まれる未払消費税等が11億84百万円減少したことによるものであります。

固定負債では1億74百万円の増加であり、これは主に資産除去債務が1億42百万円、固定負債の「その他」に含まれるリース債務が1億58百万円増加した一方、長期借入金が2億13百万円減少したことによるものであります。

## ③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億85百万円増加し、790億13百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が7億75百万円増加した一方、利益剰余金が1億21百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の第2四半期(累計)の業績予想につきましては、平成27年9月28日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」で修正しております。

なお、通期の業績予想につきましては、平成27年4月6日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首において、投資その他の資産の「その他」に含まれる退職給付に係る資産が3億22百万円、利益剰余金が2億8百万円それぞれ減少しております。

また、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,405	6,872
受取手形及び売掛金	2,472	2,877
商品及び製品	8,981	9,368
その他	3,574	4,433
貸倒引当金	△6	△81
流動資産合計	22,427	23,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	46,333	48,955
土地	33,131	33,630
その他(純額)	9,387	6,593
有形固定資産合計	88,852	89,178
無形固定資産		
その他	4,243	4,214
無形固定資産合計	4,243	4,214
投資その他の資産		
その他	18,091	18,868
貸倒引当金	△37	△15
投資その他の資産合計	18,053	18,852
固定資産合計	111,150	112,245
資産合計	133,577	135,715
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,162	15,927
短期借入金	7,760	7,340
1年内返済予定の長期借入金	3,250	3,361
その他	15,848	14,671
流動負債合計	40,021	41,300
固定負債		
長期借入金	4,839	4,625
退職給付に係る負債	112	119
資産除去債務	2,216	2,359
その他	8,058	8,296
固定負債合計	15,227	15,402
負債合計	55,249	56,702

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,117	14,117
資本剰余金	15,023	15,023
利益剰余金	48,667	48,545
自己株式	△765	△771
株主資本合計	77,043	76,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,525	2,300
退職給付に係る調整累計額	△256	△226
その他の包括利益累計額合計	1,268	2,074
新株予約権	16	24
純資産合計	78,328	79,013
負債純資産合計	133,577	135,715

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年2月21日 至平成27年8月20日)
売上高	132,184	129,682
売上原価	98,870	96,988
売上総利益	33,313	32,694
営業収入		
不動産賃貸収入	1,787	1,772
その他の営業収入	2,484	2,589
営業収入合計	4,272	4,361
営業総利益	37,585	37,055
販売費及び一般管理費	36,785	36,167
営業利益	800	887
営業外収益		
持分法による投資利益	39	48
受取手数料	191	205
その他	236	197
営業外収益合計	467	451
営業外費用		
支払利息	75	61
その他	83	81
営業外費用合計	159	142
経常利益	1,108	1,196
特別利益		
賃貸借契約解約益	5	30
補助金収入	212	-
投資有価証券売却益	506	6
その他	54	1
特別利益合計	779	38
特別損失		
固定資産除却損	41	58
減損損失	1,621	-
その他	54	7
特別損失合計	1,717	65
税金等調整前四半期純利益	170	1,169
法人税等	175	502
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△5	667
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5	667

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年2月21日 至平成27年8月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△5	667
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	187	775
退職給付に係る調整額	—	30
その他の包括利益合計	187	805
四半期包括利益	181	1,472
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	181	1,472

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。